

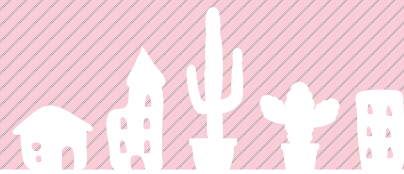
Ⅲ

基本構想



- 1 本市がめざす観光のあり方
- 2 観光を推進するにあたっての基本方針
- 3 重点テーマ
- 4 地域資源
- 5 体系図

III 基本構想



1 本市がめざす観光のあり方

人々の価値観や消費スタイルが「モノ消費」から「コト消費」へ、そして「トキ消費」へと変化する中、観光においても「コト（体験）」や「トキ（時間）」を重視した余暇の過ごし方や趣味の楽しみ方といった行動傾向が見られるようになり、現在では、個人嗜好に対応する多種多様な観光資源が創出されています。

本市にはいわゆる観光地として著名な名所旧跡が存在しておらず、従来型の観光振興はなまないと考えられます。一方で、身近な自然や公園など、市民に普段から愛される利用満足度の高い地域資源が存在しています。また、市内の各所には、それぞれの歴史や地域性を背景とした特色ある地域資源が存在しています。さらには、関心や注目を集めるまで高められてはいないものの、独自性を有し磨けば光る地域資源が存在しています。

そして、本市の利便性の高い交通網や、名古屋市を中心として人口が集積した商圈にあるという地理的な優位性は、これまで本市が暮らしやすさを高め、住宅都市として発展していく上で大きく寄与しており、今後は、ウィズコロナ時代に広がりつつあるマイクロツーリズムに適した環境として、本市が観光に取り組む上での強みともなります。

こうした背景を踏まえ、本市がめざす従来の概念とは異なる“新しい観光”のあり方を次のとおり位置づけます。

**春日井の「観光」＝
余暇や趣味を楽しむ「コト（体験）」と「トキ（時間）」**

2 観光を推進するにあたっての基本方針

本市がめざす観光を具現化するにあたり、本計画の基本方針を次のとおり定め、市民や近隣市町の住民が、遠出をしなくても身近で余暇や趣味を充実させることのできる体験や時間を創造し、提供することとします。

本市が持つ暮らしやすさを象徴する地域資源を、観光の視点からも効果的に活用し、その価値を市民と近隣市町の住民が享受するという、「暮らしやすさ」が評価されている本市だからこそ、取り組むことができる「観光」を体現します。



【基本方針】

「余暇」や「趣味」をテーマとして、春日井だからこそ体感できる、充実した「コト（体験）」や「トキ（時間）」の提供

- 特徴① 観光地ではない春日井でできること
⇒ 暮らしやすさの価値を観光の価値に活用
- 特徴② 市民も観光の対象に

3 重点テーマ

基本方針に基づき、本市における観光推進の重点テーマを次のとおりとします。

(1) 重点テーマ1「もてなす」

来訪者などを受け入れる環境整備として、本市の暮らしやすさの価値を観光の価値として活用する地域資源の磨き上げを進めるとともに、本市の「観光」のイメージを行政や各関係団体を始め、学生や市民ボランティア、商業・飲食事業者など広く市内で共有し、観光に携わる人材の発掘・育成を進めます。

◇ 地域資源の磨き上げ

地域資源そのものとともに、地域資源を活用した「コト」や「トキ」の磨き上げを行います。

- 地域資源の磨き上げ
今ある地域資源の魅力創出に向けた磨き上げ、新たな地域資源の発掘
- 地域資源を活用した「コト」や「トキ」の磨き上げ
体験プログラムや関連イベントの開催、観光商品化

◇ もてなす「ひと」の育成

観光の担い手となる、もてなす「ひと」を育成します。

- 意識の醸成
教育や学習を通じたイメージの共有と参加促進
- 人材の育成
来訪者を受け入れる担い手として、市民をはじめとした観光人材の育成

(2) 重点テーマ2「伝わる」

魅力を感じる「伝わる」情報を発信するとともに、市民や市外からの来訪者に自身の体感や体験を広める情報発信を促し、まだ浸透していない本市の魅力を市内外に伝達し拡散させます。

- 情報の発信
本市の「観光」の魅力が、市民に伝わる・市外に伝わる情報の発信
- 情報の浸透と反響
情報の受け手である市民や市外からの来訪者が、体感や体験を拡散することによる情報の浸透と反響の促進

(3) 重点テーマ3「つながる」

「観光」をテーマとした情報共有や意見交換の機会を創出し発展させることにより、市全体で観光推進に取り組む組織体制を構築します。

また、地域資源をテーマにした都市間交流や周辺都市との観光連携を推進します。

- 人がつながる
産学官連携や公民連携、担い手と観光客の交流
- 資源がつながる
地域資源を組み合わせたイベントや交流学習会等の開催
- まちがつながる
地域資源をテーマとした都市間交流
隣接都市間における観光連携、交流活動の展開





5 体系図

本市における基本構想の体系図は次のとおりです。

目的

「観光」の力によりまちの魅力を高め、まちに人的、経済的な交流を生み出し、にぎわいを創出する

基本方針

「余暇」や「趣味」をテーマとして、春日井だからこそ体感できる、充実した「コト（体験）」や「トキ（時間）」の提供

重点テーマ

もてなす

来訪者などを受け入れる環境整備

- ・地域資源の磨き上げ
- ・人材の育成

伝わる

魅力が伝わる情報を市内外に発信

- ・情報の発信
- ・情報の浸透と反響

つながる

観光推進体制の構築

- ・産学官・公民連携
- ・都市間交流

基本構想



主な地域資源（例）

公園

大規模公園でのイベント参加・憩い

- ・落合公園
- ・朝宮公園
- ・あい農パーク春日井

東部丘陵

東部丘陵の自然を活かした自然鑑賞・ウォーキング

- ・春日井三山
- ・東海自然歩道
- ・愛岐トンネル群 等

書・サボテン

独自の地域産業・地域文化である「書」「サボテン」の体験

施策、取組例